

# 令和3年度自己評価結果公表シート

学校法人住吉清水学園 英明幼稚園住吉

## 1、園の教育目標

『三つ子の魂百まで』 「人を育てるのは人」を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子どもたちのすぐれた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。
<p>教育目標 「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」</p> <p>自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる</p> <p>他人を思いやる心を育てる</p> <p>ありがとうを言える素直な心や、感謝の心を育てる</p> <p>豊かな精神と丈夫な身体を育てる</p> <p>基本的な生活習慣を身につける</p>

## 2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員や子どもたちの音楽活動を充実させる	<p>◎音楽活動の意欲的な取り組み</p> <p>コロナ禍の中であったが、各年齢にあった音楽活動（リトミック・リズム打ち・楽器練習）を行い、音楽を通して、表現力やリズム感を学び、創造性を育めるように取り組む。</p> <p>教員についても、専門の音楽講師から子どもへの指導法を学びながら、子どもたちへの音楽指導をしていく。</p> <p>お遊戯会での発表だけでなく、運動会での発表も工夫を凝らして取り組み、練習や発表を通して、子どもたちへの自信にもつなげていく。</p>
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる	<p>◎挨拶</p> <p>笑顔で元気よく挨拶を教員から続けていくことで子どもたち自ら元気よく挨拶できるようにしていく。</p> <p>子どもたちが挨拶できたときに、教員から「元気だね」などの承認の一言を大切にしていく。</p> <p>◎傾聴</p> <p>どんなことがあってもまずは教員が子どもの話を聞く姿勢を大切にする。子ども同士のことでもお互いの話を聞かせることを大切にする。その上で、必要な言葉がけをしたり、子ども同士で話し合える場を持つようにする。子どもたちも相手が話を聞いてくれることによって、安心してコミュニケーションを取れるようにしていく。</p>
教育内容の充実	<p>◎コロナ禍の中での工夫した行事への取り組み</p> <p>保護者や子どもたちにも安心して行事に参加してもらえるように、感染防止対策を行いその質を保ち今までの枠にとらわれることなくアイデアを出し合いながら、安全に楽しい取り組みをしていく</p> <p>◎園庭遊びの充実化</p> <p>引き続き、外遊びを通して、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五感を育めるようにしていく。</p> <p>結果、毎日、子どもたち自らが、積極的に外遊びを行い、体力・運動能力の向上に繋げる。</p>
防災・防犯対策	<p>避難訓練を毎月行い、様々な災害をイメージして取り組む。</p> <p>ひとつの災害だけではなく、地震からの津波など複合的に場面を設定して、訓練していく。</p> <p>災害時や不審人物等の情報がすぐに保護者の方に伝わるようにメール配信システムを活用する。</p> <p>子どもたちの安全面を確保するために、送迎時も玄関に男性職員の門番を配置する。</p>

## 3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>音楽活動の取り組みについては、全学年の成長発達に段階に合わせて、外部講師にも協力してもらいながら、取り組むことができた。また、発表の場を通して、子どもも自信をつけていくことができた。コミュニケーションについては、あいさつを基本に子どもたちが段々と自己表現ができるようになっていった。3年度もコロナ禍の中で行事運営をしていくことになったが、コロナ対応などの経験値も上がり、できることを考えながら取り組むことができた。園庭遊びも朝から積極的に子どもたちが活動することができた。防災防犯対策は繰り返し訓練を重ねることで、子どもたちの動きも毎月実施することで早く行動できるようになった。</p>
--

## 4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育内容の充実	<p>◎教育内容の質を高める</p> <p>新年度はじめに全教職員で設定した1年のゴールを目指し、園全体として同じ方向を向いて教育活動に取り組む。教職員一人ひとりの意見も尊重しながら、様々なことにもチャレンジしていけるような環境を整え、子どもたちの成長につなげていく。</p> <p>◎課外教室の充実</p> <p>新たに、英語、サッカー、ダンス、ロボット、リトミックの教室をスタートさせ、子どもたちにさまざまな選択肢を用意し、経験ができる機会を増やしていきたい。</p>
教職員や子どもたちの自己肯定感を上げる	<p>◎ペップトークの実践</p> <p>今後も引き続き、このコロナ禍の中、教職員が今あるものに目を向け、ベストを尽くせるように自分自身が前向きな姿勢で子どもたちの前に立つことに取り組む。そのためにまずは教職員自らが笑顔・元気になって、自己肯定感を高めて、子どもたち一人ひとりに向き合っていく。そこで、前向きな言葉がけペップトークを実践し、保育者として子どもたちのドリームサポーターになる。</p>
安全管理	<p>子どもたちの安全面を最優先していく。</p> <p>安全管理に対しての見直しを行い、改善していく。</p> <p>防災・防犯に対しても、教職員が子どもたちの安全を確保できるように訓練していく。</p>
健康管理	<p>◎教職員および園児たちの健康管理</p> <p>引き続き、一人ひとりの健康管理意識を高める。自分自身の健康管理を含め感染防止対策を徹底する。安心して保育できる環境づくりに努める。</p> <p>◎熱中症の正しい知識を身につけ、子どもたちだけではなく、教職員自らが意識を高く持って健康管理を行う。</p>

## 5、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。
---------------------------------